

源宗寺本尊遷座啓白文

謹ンデ三世十方ノ諸佛諸菩薩盡十方法界一切三寶ニ白シテ申サン
山門今月今日方ニ吉辰ヲトシ、埼玉県熊谷市梅龍山東竹院住持比丘
天溪世一等、当山源宗寺本堂解体改築ノ因、恭シク当寺本尊東方薬師
瑠璃光如来、大慈大悲觀世音菩薩遷座仮安置ノ儀ヲ嚴修シ奉ル
謹ンデ現前ノ清衆ヲ集メ、同音ニ大悲心陀羅尼ヲ調誦ス
集ムル所ノ善利ハ、大權修利菩薩、當山鎮守、護法ノ諸天善神、伽藍
守護、合堂ノ真宰ニ祝猷ス
惟レバ当山ハ開創以來連綿トシテ法灯ヲ繼承シ、宗風ヲ宣揚シテ
今日ニ至ル
然リト雖モ、光陰ヲ閱歴シテ堂宇漸ク朽廃ス
是ニ於テ寺檀縁者、寺院護持の道念ヲ一ニシ、再興ヲ發願シ、淨信ヲ
結集シテ伽藍ヲ一新シ、開創伝燈ノ慈恩ニ酬イ、先祖ノ尊靈ニ報答セ
ン者アリ
専ラ祈ル所ハ当山鎮守、護法ノ諸天善神、能ク此ノ地ノ災難ヲ除キ、
悉ク礎石立柱ヲ守リ、工事無難、寺檀和合、工匠無災、風雨調順、
淨業ヲ円成セシメン事ヲ
伏シテ願クハ、山門鎮静、檀信帰崇、佛天加護ノ妙智力、我等ガ為ニ
普ク照鑑ヲ垂レタマエ
謹ンデ白ス

維時 令和二年十二月一日

梅龍山東竹院 住持 比丘 天溪世一 敬白